

▶測定準備

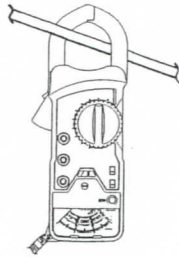
1. メータロックつまみを解除側にし、指針が自由に振れる状態にします。
(右にスライドした状態)
2. 電源スイッチをBATTの位置にし、指針が目盛板上のBATT——の範囲を指示するかを確認します。(BATT——より左側を指示する場合は、電池が消耗していますので新しい電池と交換して下さい。右側で指示する時は問題ありません) [レンジスイッチは～mAか～Aの位置にします]

〔測定方法〕

安全にご使用いただくために記載されている注意・警告の内容は厳守してください。

▶交流電流測定 (線電流測定)

- 1) 電源スイッチ④を「ON」の位置にします。
- 2) レンジスイッチ③で測定レンジを選択します。
(推定測定電流より、大きめのレンジに設定します)
- 3) クランプ部を開き、測定したい電線1本をはさみ込み
クランプ部を完全にとじます。レンジを最適値にします。
- 4) 指示値を読み取ります。(指示が小さい場合はレンジを
1段ずつ下げて行きます)
- 5) 読み取りにくい場所では、メーターロックを使用し
てください。メーターロックつまみ⑥を矢印方向にスラ
イドするとロックします。



▶もれ電流の測定

1. 接地線でのもれ電流の測定
操作は線電流の測定と同時にを行います。
2. 接地線以外の電話でのもれ電流の測定
操作は線電流の測定と同様ですが、単相電線のもれ電流は2本一緒に、三相の場合は3本
一緒にささみ込んで下さい。

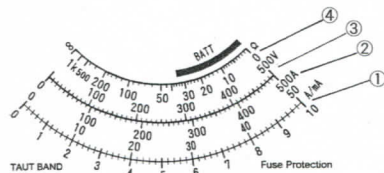
⚠ 注意

損傷の恐れがあります。

- 電流測定はCTに過大電流を印加しますと、発熱し、本器を損傷する恐れがあります。本器
には500A以上の電流を印加しないでください。

- (注1) 本器は精密測定器です。先端CTに負担をかけると故障します。
(注2) 線電流を測定する場合は、電線1本だけクランプしてください。キャプタイヤ、平行ビ
ニール線など一括クランプした場合は測定できません。
(注3) 大電流を印加した場合、CTから振動音が出る場合がありますが、異常ではありません。

〔目盛板の見方〕



番号	用途	レンジ位置	倍率
①	電 流	10mA	× 1
		50mA	× 1
		500mA	× 10
		1A	× 0.1
		5A	× 0.1
		50A	× 1
②	電 流	500A	× 1
③	電 圧	～500V	× 1
④	抵 抗	Ω	× 1

電池の交換

⚠ 警告

感電や感電事故の恐れがあります。

- 電線をクランプした状態、あるいは、電圧を測定している状態で電池を交換しないでくだ
さい。
- 電池ケースをはずしたままの使用は避けてください。

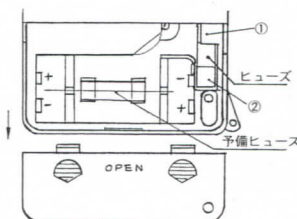
⚠ 注意

本器を長時間使用しない場合は、電池をはずして保管してください。
電池が液漏れを起こし、本器を損傷する恐れがあります。

- ・新しい電池と一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

〔電池交換〕

- ・本体裏面下側にある電池ケース止めネジを①
ドライバーで外し、電池ケースを矢印の方向
にスライドし、外します。
- ・消耗した電池2個を取り出します。
- ・極性を確認し、新しい電池を挿入します。
(単4形乾電池)
- ・電池ケースを元に戻し、止めネジをしっかりと
締め付けます。

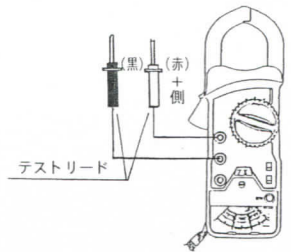


〔ヒューズ交換〕

- ・ヒューズ①側を先の細いボールペン等で上から下へ押し込むとヒューズがはずれます。
 - ・予備ヒューズを取り出し、ヒューズの②側に入れ、①側を先の細いボールペン等でヒューズ
の金属部を下から上へ押し上げます。
- 注) ヒューズのガラス部分は割れる恐れがありますので、交換時でも、とがったもの等で押し
付けたりしないでください。

▶交流電圧測定 (電源スイッチはOFFの位置)

- 1) レンジスイッチを～500Vに合わせます。
- 2) テストリードを被測定部分に当てます。
- 3) 表示値を読みとります。



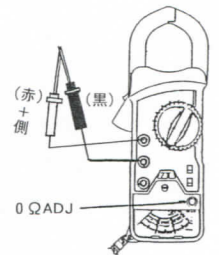
⚠ 警告

損傷の恐れがあります。

- 測定リード線は消耗品ですので、接続する前に絶縁被覆に損傷のないことを確認してくだ
さい。異常がある場合はご使用を直ちに中止して、修理又は新品と交換してください。
- 焼損・火傷の恐れがあります。
- リード線の接続は確実に行ってください。接続を誤ると、スパークする場合があります。

▶抵抗測定 (電源スイッチはOFFの位置)

- 1) レンジスイッチをΩの位置に合わせます。
- 2) テストリードの先端を短絡させ、0 Ω ADJをまわし、
指針を0 Ωに合わせます。
- 3) テストリードの先端を被測定部分に当てます。
- 4) 表示値を読みとります。



⚠ 注意

損傷の恐れがあります。

- 抵抗測定時、誤って電圧を印加しますと内部が損傷する
場合があります。又保護ヒューズが切れた場合は交換し
ます。
- 電池力パワーをはずしたまま、測定をしないでください。

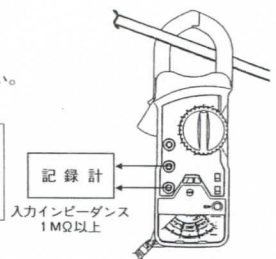
▶記録計の接続

本器には電流測定に限り、記録計出力を行ないます。
出力はメータフルスケールにおいてDC100mVです。
記録計は入力インピーダンス1 MΩ以上を使用してください。

⚠ 注意

損傷の恐れがあります。

- 記録計出力端子に誤って電圧を印加しますと内部が損傷
する場合があります。



アフターサービス

万一故障した場合は、お手数でもお買い上げいただいた販売店へ直接お持ち込み下さい。なお、
都合の悪い場合は、弊社まで郵送願います。郵送する場合は、本器を柔らかい紙、または布で包
んで外箱(ダンボール等)に収納し、住所、氏名、電話番号を明記した保証書といっしょに簡易
書留で郵送して下さい。

保証について

本器は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障の節はお買い
上げいただいた販売店または当社へお申しつけ下さい。なお、本製品の保証期間はご購入日より
1年です。この間に発生した故障で、原因が明らかに当社の責任と判定された場合には無償修
理いたします。

保証書

※御使用者 住 所 氏 名	
MODEL NO MCL-350	SER NO
保証期間	年 月より1ヵ年

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本器の最終御使用
者のお手許に保管してください。

保証規定

- 1 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は
保証規定に基づき無償で修理いたします。
- 2 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 3 保証書の再発行はいたしません。
- 4 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - a 不適当な取扱い使用による故障
 - b 設計仕様条件等をこえた取扱い、使用または保管による故障
 - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因
する故障
 - d その他当社の責任とみなされない故障

販売店名